

この事業は、ケアラーの皆さんが体調を崩すことのないよう、これからも健やかに生活するためにできたものです。

例えば、介護をしている方が外出しないといけない、入院する必要がある時をはじめ、体調を崩した時や何か困ったときなどにも利用できます。いつでもご相談をお待ちしています。

ケアラーの皆さんが健康で生活できるために



町社会福祉協議会
つきのわ じゆんしょう
月輪 淳紹 係長

皆さんの悩み、お聞きします

ケアラーの窓から
Vol.14

栗山町ケアラーお出かけ安心サービス事業

ケアラーが冠婚葬祭や外出、事故や入院などの緊急時に安心して出かけられる町独自の事業です。

介護を受けられている方が栗山町に住所登録がある40歳以上の場合、短期入所サービスを利用できます。

※介護保険や障害者総合支援法でサービスを利用している方は、ケアラーの急病や事故などの場合のみ利用ができます。

■利用回数

月1回

■利用期間

1回の利用につき7日以内、ケアラーの急病や事故などは、30日以内

■実施施設

- ・特別養護老人ホームくりのさと
- ・地域密着型特別養護老人ホームくりのさと

■利用料

施設の滞在費、食費等実費相当分(1日3000円程度)

【申請窓口】

町社会福祉協議会

【問い合わせ】

町社会福祉協議会

☎ 1322

町福祉課

高齢者・介護・医療グループ

☎ 2255



Vol.179

[最新情報を簡単アクセス]

★栗山公園公式ホームページ
<http://t-daria.com/parktop>



懐かしい、どうぶつの赤ちゃんたち♪

毎年、なかよし動物園に仲間入りする赤ちゃんたち。その年によって種類も数もさまざまですが、あっという間にパパ&ママの大きくなるので、小さくてカワイイ時期は東の間です。赤ちゃんは癒しを与え、自然と穏やかな優しい気持ちを運んでくれますよね。過去を振り返ると、懐かしい画像がたくさんありましたので、皆さまにもホッと一息つけるショットをお裾分け…(´▽´)

4月のオープンまでもう少し、雪との戦いからは逃れられませんが、新しい出会いを楽しみに春を待ちたいと思います。



今年はどんな子達が仲間入りするのかな…とワクワクする気持ちが高まってきます。♪

【問い合わせ】栗山公園案内所 指定管理者株式会社たかはしダリア ☎ 72-0706

町史の **隠れ家** vol.7

研究員 青木 隆夫
町史資料調査室 ☎ 76-7820

YouTubeで
歴史コンテンツ
公開中!



※この像の所在は現在不明。鮮明な写真も残されていない不思議な像です。

ピンチヒッター「泉麟太郎の胸像」

栗山町役場の前に立つ泉麟太郎翁の銅像(立像)は、大正11年に旧角田村役場に建立されました。しかし、この像は一度姿を消した時期があります。

昭和18年、太平洋戦争最中の金属供出が原因です。『栗山町史』には「全国の貴重な銅像と共に(泉麟太郎翁像は)昭和18年6月7日に供出され、その代替としてコンクリート造りの胸像が存置された」と書かれています。この時、供出された銅像のピンチヒッターとして、コンクリート製の胸像が制作

されていました。銅像は戦後昭和25年に再建されましたが、胸像もそのまま残り役場庁舎が移転するまでの間、銅像と胸像の二つの像が角田の旧役場で栗山を見続けていたところでした。

役場庁舎は、昭和38年に角田から栗山へ移転。銅像も5年後の昭和43年に今の役場前に移されました。しかし、それまで角田村役場前にあった胸像の、その後の運命は制作者と共に不明です。この像の鮮明な写真もなく、庁舎移転時に制作された映像『新庁舎誕生』の中に映された胸像が唯一で、今でも栗山のミステリアスな歴史です。

No.78

新しい力で栗山を元気に
地域おこし協力隊です



まちなかキッチンマネージャー
くりた としおみ
栗田 敦臣 隊員



協力隊の活動は
Facebookで発信中!

町の新たな特産品づくりにチャレンジ

栗山町に来て2年が経ちますが、昨年たくさんの町の方々とご縁をいただき充実した年を過ごすことができました。特にくりやま駅前商店街のお客様や経営者の皆様には、私が担当の「ヤムズキッチン」へのアドバイスや集客のご協力をしていただき大変感謝しております。

個人的には、北海道フードマイスター、食の6次産業プロデューサー2級、WEST・SAKE(日本酒のライセンス)を取得しました。どれも町の「食」の強みを理解し、町の皆さんとアイデアを共有していきたいという思いで取得した資格です。

今年度は6次産業プロデューサーとして、秋に収穫された

町産の玉ねぎ(さらさらレッドとスマイルボール)



を使用し、「紅白のマリネ」を札幌の水産加工会社に協力いただき試作しました。関係者や栗夢プラザのお客様、商店街のオーナーにも試食とアドバイスをいただき、一定の手応えを得ています。このような町の特産品づくりなどは、これからもどんどんチャレンジしていきます。

先月から「栗山煉瓦創庫くりふと」内のキッチン運営を担当しています。4月の正式オープンに向け、どんなことができる施設なのか紹介していますので、是非お立ち寄り下さい。